

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年10月13日 No. 29 文責：佐野紳二

「〇〇の秋」みなさんにとって、秋はどんな季節ですか？

10月も中旬になり、例年ですと周りの山々も紅葉し始め、秋らしい空気や景色が感じられる時期となる頃ですが、今年は10月に入っても最高気温が30℃を超えるなど、いつもの10月とはちょっと違った「秋」を迎えています。(寒暖の差が激しくなっていますので、体調を崩さないようにご自愛ください)

さて、毎年秋になるといろいろなところで目にするのが、冒頭にも書いた「〇〇の秋」という言葉。普段何気なく使っている言葉ですが、よくよく考えてみると「〇〇の(季節)」というのは秋にしか使われない言葉で、「〇〇の春」「〇〇の夏」「〇〇の冬」という言い方はほとんどしません。理由ははっきりとは分かりませんが、それだけ、秋という爽やかさを感じさせる季節が、何かをするのに適しているということでしょうか…。



そこで、ちょっと気になったので、「〇〇の秋」という言葉がどのくらいあるのかを調べてみました。

と言っても、私が調べたわけではなく、「ある人が2017年の9月24日から2018年の9月24日の1年間で新聞紙面の登場した『〇〇の秋』を調査した結果」を掲載させていただきます。



結果は右の表のようになったそうですが、いかがでしょうか？

使われる頻度は人によって随分異なるようで、同じような調査を大学生に行ったところ、1位は大差で「食欲の秋」、以下、2位が「読書の秋」、3位「スポーツの秋」、4位「睡眠の秋」、5位「芸術の秋」だったそうです。私は教師をしてきたので、やはり「実りの秋」や「読書の秋」「スポーツの秋」といった言葉を使うことが多いような気がします。(個人的には、断然「食欲の秋」なのですが…) また、ここに挙げたもの以外では「勉強の秋」「ファッションの秋」「旅行の秋」「味覚の秋」なんて言う言葉も見かけました。これらはいずれも右の表でランクインしている言葉から派生した言葉なのかなあ…という感じもします。

順位	〇〇の秋	登場回数
1	実りの秋	792
2	芸術の秋	449
3	食欲の秋	427
4	スポーツの秋	271
5	読書の秋	246
6	収穫の秋	225
7	行楽の秋	61
8	紅葉の秋	20
9	音楽の秋	10
10	睡眠の秋	7
11	美術の秋	4

いずれにしても、夏ほど暑くはなく、冬ほど寒くもなく、春のように花粉が飛んだり、年度始めの忙しさを感じたりすることのない「秋」という季節は、何かにじっくり取り組むのにはとてもいい季節だと思います。来週からは本校でも「読書週間」が始まります。また、6年生は陸上記録会の練習に毎日取り組んでいますし、ドレミファ発表会に向けての練習も、各学年で少しずつ始まっています。私も今年の秋は「食欲の秋」ではない、自分なりの秋を見つけて、取り組んでみたいと思っています。



ぜひ、みなさんも自分なりの「秋」を見つけて、何かに挑戦してみてください。今年の秋が、多くの人にとって豊かな「実りの秋」になることを願っています。

陸上記録会に向けて 中学校の先輩に指導してもらいました

10月20日（水）に行われる橿形地区陸上記録会*に向けて、運動会が終わって間もなく練習を開始した6年生。体育や放課後の時間を使って、6年生の齊藤先生・加賀美先生や他の先生方に指導してもらいながら練習を進めていますが、7日（木）には、橿形中学校の陸上部に所属する先輩が本校を訪れ、6年生の練習を見てくれました。*例年は橿形・甲西・若草の9校が一堂に会して記録会を行っていますが、本年度は感染症予防の観点から橿形地区4校での開催となりました。

当日、橿形北小に来てくれたのは、本校を卒業した橿形中学校3年生の陸上部員7名です。3年生なので多くの生徒はすでに中学校の部活は引退しているようですが、これまで後輩の指導を行ってきただけあり、6年生にもそれぞれの種目のポイントをわかりやすく説明しながら、ときには一緒に体を動かしたり、見本を見せたりしながら練習を進めてくれました。最後のまとめの話では、代表の中学生が「記録も大切だけど、何よりも仲間と一緒に楽しく運動することが大切です」と、とても参考になる話をしてくれました。

陸上記録会まで残りあと1週間ですが、6年生には「体を動かすことの楽しさ」や「仲間と一緒に目標を目指して頑張る楽しさ」を感じながら、練習に取り組んでいってほしいと思います。



練習が終わると、中学生が進んで用具の片づけを手伝ってくれました！陸上競技の技術だけでなく、いろいろな面で見本となる中学生の姿が見られました。

今週の「イイね！」 4年生の声掛けが「イイね！」

先日、体育の授業で4年生の走り高跳びの様子を見てみると、成功した子には「やった！」「すごいね！」という声と拍手が、うまくいかなかった子には「惜しい！」「もうちょっと！」という声が聞こえてきました。こんな声がたくさん聞こえるクラスでは、子どもたちは「次はがんばるぞ！」「もっとやってみよう」という気持ちになります。4年生の友だちへの声掛けが「イイね！」

